

平成 29 年 1 月 5 日
(Year/Month/Day)

工学系教育研究センター長
(To: Director of CEED)

専攻・学年：環境創生工学修士 1 年
(Division/Tear)

氏 名：藤岡みなみ
(Name：)

インターンシップ体験報告書 (Internship Report)

(1) インターンシップの概要 (派遣先・派遣期間・指導員など)

派遣先：フィンランド、タンペレ応用科学大学

期間：2 か月半

指導教員：Ms. Seija Haapamäki

(2) 研修内容 (テーマ・成果概要など)

テーマ：微生物分解性のある包装材の分解性評価

大学とある会社が提携して行っているプロジェクトに参加した。会社から提供された包装材を用いてコンポスト化試験を行い、酸素消費等のデータから分解性を評価した。コンポスト化試験に時間がかかるため、プロジェクトを最後まで進めることはできなかったが、指導教員と頻繁にミーティングを行いながら実験を行い、成果をレポートにまとめた。会社の役員も含めたミーティング等にも参加させていただいた。

(3) (2) 項以外で学んだこと・後輩等に伝えたいこと

夏休みで大学が長期間休みだったため相手の大学からのインターン参加許可をもらうのが出発直前になってしまい、アパートが見つからないまま出国した。現地の友人宅やホステルに泊まったのち、結局大学の Social coordinator の方の家にホームステイさせて頂き、2 か月ほどフィンランドの言葉、料理、自然、いろいろなものを体験させていただき、絶対に寮や一人暮らしでは味わえない経験が得られた。結果的にはアパート住まいより良かったのだが、一方で見つからない間は不安もあったので、後輩には住まい探しは行く時期・滞在期間によってはかなり難航する場所があるので早いうちから抑えたほうが良いと強く勧めたい。

(4) その他

以上